

OMA ソフトウェアの更新

EMCC システムのモジュール・更新について

https://docs.oracle.com/cd/E74608_01/131/EMBSC/install_em_exist_db.htm

『5.2 Enterprise Manager システムをインストールする前に』 より

(Extended Support ライセンスを購入することなく、)

Enterprise Manager Cloud Control コンポーネントとそのターゲット (DB とエージェント) の最新のコード修正で動作させるためには、最新バージョンに常に更新しておく

OMA ソフトウェアの更新フロー

1. **更新された** 配布用管理エージェント (OMA) ・ソフトウェアの入手
- ↓
2. 『エージェント・ゴールド・イメージ』の作成
- ↓
3. 『エージェント・ゴールド・イメージ』の配布

1. **更新された** 配布用管理エージェント (OMA) ・ソフトウェアの入手

管理するデータベースのホストのプラットフォーム OS に合わせた管理エージェント・ソフトウェアの更新プログラムを**事前にダウンロード**しておく必要がある

OMA コンポーネントの更新

https://docs.oracle.com/cd/E74608_01/131/EMBSC/install_agent_new.htm

『6.1.3 ゴールド・イメージ・バージョンを使用して管理エージェントをプロビジョニング、アップグレードおよび更新するメリット』 より

エージェント・ゴールド・イメージ・バージョンは、**管理エージェントの**プロビジョニングおよび**更新**のライフサイクルを管理するための**ソリューション**です

つまり、**ユーザーが**、管理エージェントをアップグレードしたり、パッチを適用したり、プラグインを**管理したりする必要はありません**

3. ゴールド・イメージ・バージョンを使用する管理エージェントの更新方法

https://docs.oracle.com/cd/E74608_01/131/EMBSC/install_agent_new.htm

『6.2.6.1 ホスト・ターゲットの追加ウィザードによるエージェント・ゴールド・イメージを使用した管理エージェントのインストール』 より

3. 「インストールの詳細」ページの「デプロイメント・タイプ」セクションで、『既存のエージェントにクローンする』を選択する

Deployment Type

Select the type of deployment you want to perform

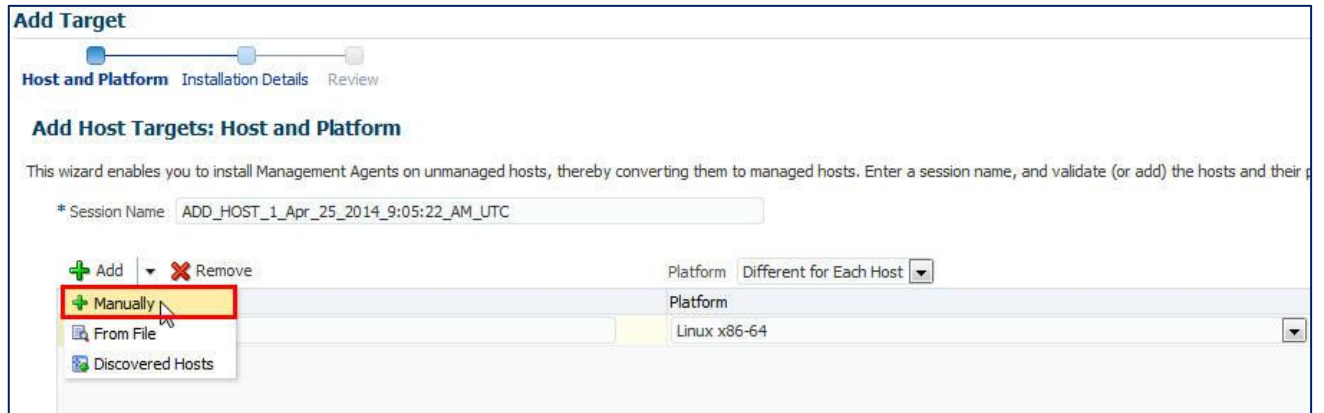
- Fresh Agent Install
- Clone Existing Agent
- Add Host to Shared Agent

※ これ以外の操作部分は、「OMA へのインストール」と同じ手順となる

ゴールド・イメージ・バージョンの配布先の指定

作成した「ゴールド・イメージ・バージョン」が配布される OMA ホスト（すなわち、管理エージェント・ソフトウェアが更新される先）は、
「6.2.6.1 ホスト・ターゲットの追加ウィザードによるエージェント・ゴールド・イメージを使用した管理エージェントのインストール」で指定する

メニュー・「追加」 → 「手動」



管理エージェントをインストールするホストの完全修飾名を入力して、プラットフォーム OS を選択します。

管理エージェントにパッチを適用するための方法 (新規インストール時と旧バージョンのバージョンアップ時)

https://docs.oracle.com/cd/E74608_01/131/EMBSC/install_agent_new.htm

『6.2.2.2 ホスト・ターゲットの追加ウィザードまたは EM CLI を使用したスタンドアロン管理エージェントのインストールを開始する前に』 より

Enterprise Manager Cloud Control 13c では、特定バージョンの管理エージェント・ソフトウェアに適用する管理エージェント個別パッチを保存できるため、同じバージョンの新しい管理エージェントをデプロイするたびに、または古い管理エージェントをそのバージョンにアップグレードするたびに、これらのパッチが自動的にそのソフトウェアに適用されます。

これを行う方法の詳細は、『Oracle Enterprise Manager Cloud Control アドバンスド・インストレーションおよび構成ガイド』を参照してください。

また、個別パッチをプラグインに適用して、カスタムのパッチが適用されたプラグインを作成でき、このカスタムのパッチが適用されたプラグインは、デプロイするすべての新しい管理エージェント、およびアップグレードするすべての古い管理エージェントにデプロイされます。

その方法に関する詳細は、『Oracle Enterprise Manager Cloud Control 管理者ガイド』を参照してください。

25 Oracle Management Agent へのパッチ適用 (既存エージェントへのパッチ適用)

『Oracle® Enterprise Manager Cloud Control 管理者ガイド』
https://docs.oracle.com/cd/E74608_01/131/EMADM/patching.htm
『25.3 手動による管理エージェントへのパッチ適用』 より

管理エージェント・ターゲットに手動でパッチを適用するには、次の手順を実行する

1. My Oracle Support (<https://support.oracle.com>)にログインする
 - ・ 「パッチの推奨」セクションで、全ての使用環境に対して推奨されるパッチとパッチ番号が表示されていることを確認します。
2. My Oracle Support のホームページで、「パッチと更新版」をクリックする
3. 「パッチ検索」セクションで必要なパッチの番号を入力して、「検索」をクリックする
4. パッチを選択し、表示されるコンテキスト・メニューから「ダウンロード」をする
5. パッチ Zip ファイルを抽出し、Readme.html または Readme.txt に記載されている手順に従って、パッチをインストールする